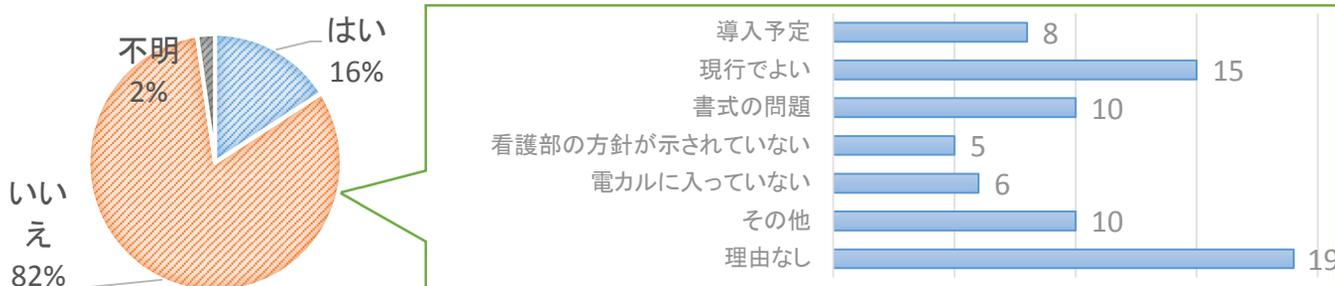


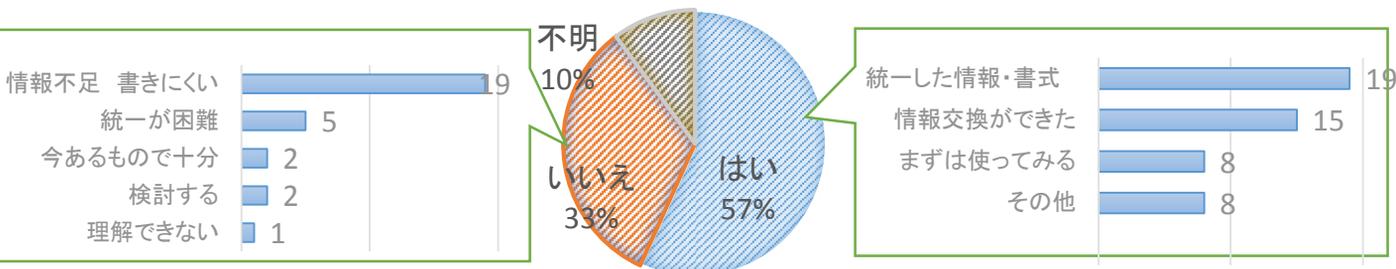
# 業務委員会より「新看護サマリー説明会」アンケート結果

地域医療連携の促進に向け情報共有と連携強化、看護サマリーをもとに患者の全体像をつかみ適切なサービスを提供することを目的に、急性期・回復期・在宅用の3種類の新看護サマリーを作成しました。使用方法についての説明会を平成31年1月10日(木)14時から16時に開催しました。参加者88名(31施設)アンケート回収率100%でした。ご協力ありがとうございました。

## 1 新看護サマリーを活用していますか



## 2 説明会を受けて、所属でサマリーを活用できるようなヒントを得ることができましたか



現場で新看護サマリーを活用するためには (グループワークより)

### 【新看護サマリーの利点】

- ・急性期側としては利用し易い
- ・在宅用は細かくて分かりやすい
- ・送られる側が簡潔で時短できる
- ・サマリー項目を見比べて不足している情報を追加してきける(3)
- ・チェックが多く早く書ける(4)
- ・簡単にまとめるということはサマリー作成の時短につながる(2)
- ・統一しているのでどこに何があるかわかる(5)
- ・3種類あって選べられる(2)
- ・県内で統一していると情報収集しやすい(2)
- ・必要な情報をまとめやすい
- ・看護年数に関わらず同じ情報提供ができる
- ・1枚なので急なサマリー記入となっても見やすい(3)
- ・身体図があってわかりやすい

### 【活用するために工夫していること】

- ・入院中の経過は診療提供情報書を参照すればいい
- ・サマリーを受け取る側に知りたい内容を確認していく
- ・電子カルテに入れる
- ・書ききれない情報は添付資料とする(薬剤情報・リハビリ・栄養など)(2)
- ・使用回数を増やす